

令和6年

第3回町議会定例会

行政報告

(令和6年9月4日)

幕別町長 飯田 晴義

令和6年第3回町議会定例会が開催されるに当たり、当面する町政の執行につきましてご報告をさせていただきます。

(功労者について)

本年も10月1日に128年目の開町記念日を迎えます。

偉大な先人たちが理想郷の実現を目指し、不屈の精神で本町発展の礎を築かれて以来、町民各位の限りない郷土愛により、幕別町が十勝の中核的な町として発展を続けておりますことに対し、深甚なる敬意と感謝を捧げるものであります。

例年、開町記念日に本町の功労者を顕彰させていただいておりますが、過日、表彰者選考委員会からいただきました答申を尊重し、本年は社会功労賞として2人、産業功労賞として1人の方々を顕彰させていただくことといたしました。

受賞されます皆さんの永年にわたるご活躍とご功績に対しまして、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げる次第であります。

(パリオリンピックにおける桑井亜乃さんの審判活動について)

次に、パリオリンピックにおける桑井亜乃さんの審判活動について申し上げます。

本年7月26日に開幕したパリオリンピックにおきまして、本町出身の桑井さんが、7月28日の女子7人制ラグビーの一次リーグA組のニュージーランド対中国で主審を、同日、B組のオーストラリア対南アフリカで副審を担当するなど、合わせて10試合で審判を務め、8月23日に幕別町に帰町され、オリンピックでの思いや今後についてお話をいただきました。

オリンピックの舞台に選手と審判で出場するのは世界初の快挙でありましたが、桑井さんは「自分の笛1つでゲームが変わってしまうことから、ぶれずに自分を信じてグラウンドに立った」とオリンピックでの活動の感想を話され、今後はオリンピックの舞台ではなく、国内15人制男子ラグビーのトップリーグでの審判を目指していると力強く抱負を語っていただきました。

日本の女子ラグビー界のパイオニアとして、選手、審判それぞれの新たな道を切り拓いてこられた桑井さんの、今後の活躍に大いに期待するところであります。

（普通交付税等について）

次に、本年度の普通交付税等について申し上げます。

7月23日、国は「令和6年度普通交付税大綱」に基づき、各自治体へ交付する普通交付税の総額を17兆5,470億円、前年度との比較では2,876億円、1.7%の増と決定いたしました。

算定に当たっての昨年度からの主な改正内容は、こども・子育て政策に係る基準財政需要額をよりの確に算定するため、測定単位を18歳以下人口とする「こども子育て費」が新たに設けられたほか、昨年度に引き続き、地域社会のデジタル化の取組に係る財政需要が反映されるとともに、光熱費の高騰を踏まえ、学校、福祉施設、文化施設等地方公共団体の施設に係る光熱費が措置されたところであります。

本町におきましては、こども子育て費の新設や林野水産行政費の単位費用の増などに伴い、基準財政需要額が増となりましたが、一方で、固定資産税の増により基準財政収入額も増となったものであります。

本年度の普通交付税額は、58億9,527万3千円で、前年度当初算定額との対比では2,108万7千円、0.4%の増となっており、当初予算計上額との比較におきましては、約4,500万円が留保財源となったところであります。

令和5年度繰越金や特別交付税など、他の財源の状況も勘案しながら、今後の財政運営を慎重に進めてまいりたいと考えております。

（途別小学校の閉校について）

次に、途別小学校の閉校について申し上げます。

途別小学校は、明治35年9月、地域発展の礎を子どもたちの教育に託そうとする先人の熱い思いのもと、「途別簡易教育所」として開校以来、1,600人を超える卒

業生を輩出するとともに、地域の教育や文化の拠点として、さらには地域住民の心の拠り所として大きな役割を果たしてまいりました。

しかしながら、ここ数年20人を超えていた児童数が本年度は14人、また、来年度は入学児童が見込めず、学級数や教職員数が減る見込みであることなど、今後、これまでと同様の教育環境を維持することが難しいとの判断により、8月5日、途別小学校PTAをはじめ、地域の3つの町内会（途別、日新2、上稲志別）及び途別小学校同窓会の各代表者連名で、町と町教育委員会に対して、「令和7年度末をもって、途別小学校を閉校し、札内南小学校へ統合する」旨の要望書が提出されたところであります。

提出に至る経緯といたしましては、昨年8月からPTAにおいて、小学校の今後の在り方についての協議を重ねられ、本年3月、PTAの総意により閉校の確認を行い、さらに5月には、住民説明会が開催され、閉校について地域から全会一致の承認を得たと伺っております。

私としては、途別小学校の輝かしい歴史を閉じなければならないという苦渋の選択をされた地域の方々の思いを尊重し、今後は、子どもたちのことを第一に考え、可能な限りの対応をさせていただくとともに、円滑な統合に向けた準備や校舎等の跡利用について、地域と相談しながら進めてまいりたいと考えております。

（幕別認定こども園の施設整備について）

次に、幕別認定こども園の施設整備について申し上げます。

幕別認定こども園につきましては、幕別地区における少子化に伴う児童数の減少並びに幕別中央保育所及びわかば幼稚園の施設の老朽化といった課題に対応すべく認可保育所に幼稚園機能を備えた「保育所型認定こども園」を、旧幕別中央保育所の施設を活用し、本年4月に開園したところであります。

また、施設整備につきましては、令和2年に策定した「幕別中央保育所とわかば幼稚園の今後の方向に係る考察について」を基本としながら、旧わかば幼稚園園舎の増

築・改修も含めて検討してまいりました。

現在利用している旧幕別中央保育所の施設は、昭和４８年の建築から５０年を経過し、施設の老朽化が進んでいる状態にあり、加えて、駐車場が隣接地にないことなどの課題を早期に解消する必要がありますことから、できる限り短期間で移行できるよう、このほど、旧わかば幼稚園園舎の改修及び不足する乳児室や調理室等の増築により施設を整備することとし、本定例会に関連する予算を提案させていただいたところであります。

（新型コロナワクチンの予防接種について）

次に、新型コロナワクチンの予防接種について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、本年度から予防接種法第５条第１項に規定する定期予防接種のＢ類疾病として、予防接種の実施主体が市町村となりましたことから、本年第２回町議会定例会におきまして、予防接種に要する予算を議決いただいたところであります。

現在は、１０月１日からの接種開始に向けて準備を進めているところでありますが、詳細な接種期間や予約方法のほか、定期予防接種の対象とならない方の任意接種の方法など、医療機関により実施内容が異なりますことから、広報１０月号や町ホームページなどを通じて、分かりやすい情報提供に努め、安全かつ円滑な接種の実施に向けて取り組んでまいります。

（幕別町ゼロカーボン総合補助金について）

次に、幕別町ゼロカーボン総合補助金について申し上げます。

本年２月にゼロカーボンに向けた町全体の取組計画である「幕別町地球温暖化対策実行計画」を策定し、第１回町議会定例会において２０５０年に二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティまくべつ」を宣言したところであります。

この長期にわたる取組を計画的に行うため、その期間を３期に分け各種事業を実施

すべく「幕別町ゼロカーボンロードマップ」を作成し、施策の展開を図って行くこととしており、第1期の施策の一つとして、7月10日から「幕別町ゼロカーボン推進総合補助金」事業を開始したところであります。

本事業は、各家庭から排出される二酸化炭素の削減を行うことを目的に、再エネ設備や省エネ機器等の導入に対し補助を行うものでありますが、9月2日現在、33件、317万1千円の補助金の交付決定を行ったところであり、引き続き予算の範囲内で申請を受け付けるとともに、広報9月号で補助事業について再度周知を行ったところであります。

（農作物の作況について）

次に、農作物の生育状況について申し上げます。

今年は、春から温暖で、作付け作業も順調に進み、農作物全般にわたり生育も平年より早く順調に推移しております。

9月1日現在の主な農作物の生育状況につきましては、秋まき小麦が、昨年より1日遅い7月15日に収穫を始め、7月25日に終えたところであり、10アール当たりの粗原単収は、約11.3俵と平年を上回る収量になる見込みとお聞きしております。

このほか、馬鈴しょは平年並みに生育しておりますが、7月の高温少雨の影響でやや小玉傾向にあり、てん菜は5日早く生育し、高温と降雨の影響で褐斑病も発生しておりますが、根周も順調に肥大しており、豆類も8日ほど早く生育し、着莢数が多いことから、おおむね平年を上回る収量となる見込みであります。

また、飼料用作物は、1番草の収穫は収量・質とも良好で、現在2番草の収穫期を迎えているところであり、サイレージ用とうもろこしにつきましては、11日早く生育しており、良質な粗飼料の確保が期待されております。

しかしながら、7月以降の猛暑と少雨により、ニンジンなどの根菜類を中心に細長い形に育つ傾向が見られるなど出荷量にも影響が出ており、酪農では乳量の低下が見

られるなど、農業経営への影響が懸念されるところであります。

いずれの作物におきましても、今後の収穫期に向け、好天に恵まれ、農業者の皆さんの的確な管理により、農作業事故が無く、豊穰の秋を迎えられますことを心から願っております。

（公共工事の発注状況について）

次に、公共工事の発注状況について申し上げます。

8月末現在における公共工事の発注済額は、28億205万円で、発注率にいたしますと85.43%となっております。

現在までのところ、忠類24号線などの道路整備工事のほか、あかしや南団地公営住宅建替工事、アイヌ文化拠点施設生活館棟整備工事、下水道処理区統合連絡管渠整備工事などの発注を終えております。

今後は、橋梁の長寿命化工事や道路舗装強化工事などの発注を予定しており、安全に工事が進められるよう適切な工期設定と適時発注に努めてまいりたいと考えております。

以上、当面する諸課題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆さんには、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、行政報告とさせていただきます。